



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社あかつき本社
 コード番号 8737 URL <https://www.akatsuki-fg.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島根 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 北野 道弘
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6821-0606

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	26,977	4.4	13,301	14.5	1,396	18.1	1,163	19.2	956	2.3
2021年3月期第3四半期	28,232	17.4	11,621	59.2	1,704	84.5	1,438	171.5	934	149.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 936百万円 (0.1%) 2021年3月期第3四半期 936百万円 (126.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	31.00	
2021年3月期第3四半期	30.12	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を経過的な取扱いに従って第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	66,765	14,717	21.0	457.56
2021年3月期	61,660	13,792	22.3	447.35

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 14,030百万円 2021年3月期 13,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		8.50		9.50	18.00
2022年3月期		9.50			
2022年3月期(予想)				8.50	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2022年2月14日)公表いたしました「2022年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	34,300	12.3	1,370	47.1	1,100	50.4	900	37.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2022年2月14日)公表いたしました「2022年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 合同会社さつき
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	34,029,544 株	2021年3月期	34,029,544 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	3,365,251 株	2021年3月期	3,236,693 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	30,848,155 株	2021年3月期3Q	31,021,705 株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、E S O P 信託口及びB B T 信託口が所有しております当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年12月31日まで)において、当社グループは各セグメントにおいて以下のような取り組みを行ってまいりました。

① 証券関連事業

あかつき証券㈱では、戦略的に推進している金融商品仲介（I F A）向けのプラットフォームサービスにおいて、業界初の債券プライシング自動応答システム「Flash Answer Pro」の導入や、専用ポータルサイトの機能充実等、I F Aの取引利便性の向上を進めております。これらの結果、当社における2021年12月末のI F A契約外務員数は1,082名（前期末比349名増）、I F A部門の預り資産残高は2,035億円（同584億円増）と拡大し、リテール部門及び金融商品仲介子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ㈱の提携金融機関における管理資産残高を含めた預り資産残高は3,603億円（同599億円増）となりました。また、2021年4月に足立成和信用金庫及び富士信用金庫、7月に飯能信用金庫、10月に紀北信用金庫と顧客紹介に関する業務提携契約を締結し、金融機関とのアライアンスによる顧客基盤の強化と販売チャネルの拡大が進んでおります。

業績面では、営業収益においてリテール部門の減収をI F A部門の増収がカバーし全体として増収となったものの、利益ではリテール部門の減益をI F A部門の増益で吸収できなかったことに加え、中長期の業務拡大のための戦略的投資に伴うコストの増加により全体として減益となりました。

(証券関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

	2021年3月期 第3四半期累計期間	2022年3月期 第3四半期累計期間	増減率
営業収益	8,308	9,745	17.3%
セグメント利益	1,057	529	△50.0%

② 不動産関連事業

東日本不動産流通機構（東日本レイズ）によると、首都圏の中古マンションの成約件数は当第3四半期会計期間においてほぼ横ばいながら前年同期を下回った一方で、成約㎡単価は上昇しました。㈱マイプレイスは、保守的な仕入を実践しながらも、空室物件（後述「タイプA」）及び賃借人付物件（後述「タイプB」）の仕入戸数はそれぞれ366戸、142戸と前年同期より増加しました。販売面に関しても、前年同期にコロナ禍への対応として実施したタイプB物件の一部流動化による一時的な増収増益の反動による要因を除けば、前年同期比で営業収益、営業利益ともに堅調に推移しています。

また、高齢者施設開発を手掛けるE Wアセットマネジメント㈱は、2021年8月に新たに京都市伏見区において有料老人ホームの開発に着手し、これにより現在、兵庫県西宮市・熊本県熊本市の2施設を含む3施設を開発中です。

業績面では、営業収益が中古マンションの販売戸数減少により減収となったものの、営業利益は利益率向上が寄与し増益となりました。

(不動産関連事業の営業収益及びセグメント利益)

(単位：百万円)

	2021年3月期 第3四半期累計期間	2022年3月期 第3四半期累計期間	増減率
営業収益	20,078	17,447	△13.1%
セグメント利益	1,242	1,554	25.1%

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2021年3月期 第3四半期累計期間	2022年3月期 第3四半期累計期間	増減率
営業収益	28,232	26,977	△4.4%
営業利益	1,704	1,396	△18.1%
経常利益	1,438	1,163	△19.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	934	956	2.3%

(補足情報)

I. あかつき証券㈱、ジャパンウェルズアドバイザーズ㈱、トレード・サイエンス㈱

あかつき証券㈱は、リテール営業に加え、戦略的に金融商品仲介ビジネス（以下「IFAビジネス」）の強化、地域金融機関との提携、AI・フィンテックを活用したアドバイス力の強化を進めております。中でも2014年から本格参入しているIFAビジネスは拡大傾向にあります。なお、以下はあかつき証券㈱に同社子会社であるジャパンウェルズアドバイザーズ㈱及びトレード・サイエンス㈱を連結した補足情報です。

(a) 経営成績（四半期会計期間毎）

(単位：百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)	1Q (4～6月)	2Q (7～9月)	3Q (10～12月)	4Q (1～3月)
営業収益	2,053	2,901	3,316	4,112	3,046	3,474	3,227	—
営業利益	213	404	448	476	186	215	131	—
経常利益	211	408	455	484	201	225	133	—
当期純利益	145	274	299	327	142	154	83	—

(b) 預り資産

(単位：百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
預り資産	216,819	238,122	263,536	300,357	321,109	341,681	360,321	—
(うちIFA)	65,126	80,696	117,791	145,160	167,738	182,223	203,594	—

(c) 契約外務員数

	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
契約 外務員数 (人数)	536	557	667	733	849	994	1,082	—

II. ㈱マイプレイス、㈱バウテックグループ、㈱マイプランナー

㈱マイプレイスは、東京都及び神奈川県を中心とした首都圏において、住宅一次取得者層向けの中古マンション事業を行っておりますが、①賃借人なしの空室中古マンションを購入後、直ちにリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプA」といいます。)と、②賃借人付の中古マンションを購入後、一定期間賃料収入を得、賃借人の退去後にリノベーションを施し売却するケース(以下「タイプB」といいます。)があります。また、㈱バウテックグループは、㈱マイプレイス及び外部の買取再販事業者向けにリノベーションの設計・施工サービスを提供しております。なお、以下は㈱マイプレイス、㈱バウテックグループ及び㈱マイプランナーを連結した補足情報であり、3社間の内部取引を消去したものであります。

(a) 経営成績 (四半期会計期間毎) (単位：百万円)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
売上高	4,753	8,155	6,779	6,634	5,787	5,067	6,052	—
営業利益	333	654	620	642	615	502	614	—
経常利益	262	591	559	560	561	465	572	—
当期純利益	178	404	379	383	385	433	394	—

(b) 中古マンションの仕入状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。) (単位：戸)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
タイプA	106 (△19)	88 (△79)	111 (0)	150 (+30)	108 (+2)	140 (+52)	118 (+7)	—
タイプB	5 (△57)	6 (△69)	23 (△2)	33 (△20)	53 (+48)	27 (+21)	62 (+39)	—
合計	111 (△76)	94 (△148)	134 (△2)	183 (+10)	161 (+50)	167 (+73)	180 (+46)	—

(c) 中古マンションの販売状況 (四半期会計期間毎。カッコ内は前年同四半期会計期間との増減。) (単位：戸)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)
販売戸数	136 (△53)	232 (+60)	194 (+18)	192 (+35)	164 (+28)	140 (△92)	151 (△43)	—

(d) 中古マンションの在庫状況 (四半期会計期間末) (単位：戸)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
タイプA	289	222	187	209	203	231	240	—
タイプB	614	543	518	487	490	489	509	—
合計	903	765	705	696	693	720	749	—

(e) ㈱バウテックグループによるリノベーション完工数 (四半期会計期間毎) (単位：戸)

	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)	1Q (6月末)	2Q (9月末)	3Q (12月末)	4Q (3月末)
㈱マイプレイス向け	128	122	153	135	152	109	136	—
外販	47	41	48	38	43	36	54	—
合計	175	163	201	173	195	145	190	—

(注) 外販とは、外部の買取再販業者向けの設計・施工サービスとなります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5,105百万円増加し66,765百万円となりました。これは主に、販売用不動産が4,346百万円、投資有価証券が1,018百万円増加し、現金及び預金が347百万円、有形固定資産が315百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ4,180百万円増加し52,048百万円となりました。これは主に、短期社債が3,000百万円、預り金が3,327百万円増加し、1年内償還予定の社債が2,000百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ925百万円増加し、14,717百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想及び配当予想については、2021年5月14日付「2021年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2022年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,432,900	16,084,970
預託金	14,214,200	14,215,420
トレーディング商品	907,172	654,197
約定見返勘定	—	243,479
信用取引資産	2,827,980	3,180,655
信用取引貸付金	2,690,539	3,133,476
信用取引借証券担保金	137,441	47,179
差入保証金	350,404	350,467
販売用不動産	19,333,110	23,679,222
その他	1,485,314	1,530,478
流動資産計	55,551,083	59,938,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	667,865	641,687
土地	731,066	466,294
その他	169,154	144,218
有形固定資産合計	1,568,086	1,252,200
無形固定資産		
のれん	1,560,410	1,398,988
その他	213,660	257,057
無形固定資産合計	1,774,070	1,656,045
投資その他の資産		
投資有価証券	2,058,731	3,077,527
その他	902,423	1,034,563
貸倒引当金	△193,730	△193,273
投資その他の資産合計	2,767,424	3,918,817
固定資産計	6,109,581	6,827,063
資産合計	61,660,665	66,765,955

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	6,807	—
約定見返勘定	134,808	—
信用取引負債	2,486,903	2,592,410
信用取引借入金	2,288,013	2,406,490
信用取引貸証券受入金	198,890	185,920
預り金	12,812,226	16,139,844
受入保証金	568,857	632,418
短期社債	3,000,000	6,000,000
短期借入金	10,154,340	9,641,216
1年内返済予定の長期借入金	2,574,074	2,301,717
ノンリコース1年内返済予定長期借入金	24,720	765,720
1年内償還予定の社債	3,000,000	1,000,000
未払法人税等	416,458	69,820
その他	2,068,805	2,045,763
流動負債計	37,248,002	41,188,910
固定負債		
長期借入金	7,850,797	8,346,726
ノンリコース長期借入金	1,060,700	641,160
退職給付に係る負債	252,265	225,624
役員株式給付引当金	892,728	975,607
その他	539,910	646,638
固定負債計	10,596,400	10,835,756
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	24,104	24,104
特別法上の準備金計	24,104	24,104
負債合計	47,868,507	52,048,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,665,452	5,665,452
資本剰余金	3,132,408	3,131,156
利益剰余金	6,192,737	6,503,743
自己株式	△1,222,052	△1,274,446
株主資本合計	13,768,545	14,025,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,307	△5,559
為替換算調整勘定	8,044	10,458
その他の包括利益累計額合計	6,737	4,898
新株予約権	9,529	9,529
非支配株主持分	7,345	676,848
純資産合計	13,792,158	14,717,183
負債・純資産合計	61,660,665	66,765,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業収益		
受入手数料	1,591,466	1,666,319
トレーディング損益	6,492,138	7,817,636
金融収益	53,767	46,754
不動産事業売上高	20,077,495	17,446,965
その他	17,988	—
営業収益計	28,232,856	26,977,675
金融費用	31,085	23,026
売上原価		
不動産事業売上原価	16,580,544	13,653,439
売上原価合計	16,580,544	13,653,439
純営業収益	11,621,226	13,301,209
販売費及び一般管理費		
取引関係費	4,304,366	5,928,658
人件費	2,694,140	2,805,748
不動産関係費	283,647	308,144
事務費	421,469	478,566
減価償却費	115,731	115,449
租税公課	267,916	332,445
販売手数料	414,903	402,476
のれん償却額	166,328	161,421
その他	1,248,063	1,372,037
販売費及び一般管理費合計	9,916,568	11,904,949
営業利益	1,704,658	1,396,260
営業外収益		
受取配当金	3,656	18,503
不動産取得税還付金	13,321	76,268
投資有価証券売却益	19,929	240
その他	28,667	49,591
営業外収益合計	65,575	144,604
営業外費用		
支払利息	291,293	272,642
支払手数料	27,011	72,282
その他	12,969	32,668
営業外費用合計	331,273	377,593
経常利益	1,438,960	1,163,270
特別利益		
固定資産売却益	0	170,516
特別利益合計	0	170,516
特別損失		
固定資産売却損	2,830	—
固定資産除却損	83	7,093
関係会社株式売却損	—	156
特別損失合計	2,914	7,250

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
税金等調整前四半期純利益	1,436,045	1,326,536
法人税、住民税及び事業税	709,938	262,125
法人税等調整額	△209,134	126,204
法人税等合計	500,804	388,330
四半期純利益	935,241	938,206
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	867	△17,978
親会社株主に帰属する四半期純利益	934,374	956,184

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	935,241	938,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	705	△4,252
持分法適用会社に対する持分相当額	1,047	2,413
その他の包括利益合計	1,753	△1,838
四半期包括利益	936,994	936,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	936,127	954,346
非支配株主に係る四半期包括利益	867	△17,978

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	8,155,360	20,077,495	28,232,856	—	28,232,856
セグメント間の内部営業収益又は振替高	153,333	541	153,874	△153,874	—
計	8,308,694	20,078,036	28,386,730	△153,874	28,232,856
セグメント利益	1,057,287	1,242,778	2,300,066	△595,407	1,704,658

(注) 1. セグメント利益の調整額△595,407千円には、セグメント間取引消去△153,333千円、全社収益86,264千円、全社費用△523,431千円及びのれん償却額△4,906千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社収益は主にグループ子会社からの受取賃料、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	証券関連事業	不動産関連事業			
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	9,530,709	17,446,965	26,977,675	—	26,977,675
セグメント間の内部営業収益又は振替高	215,000	836	215,836	△215,836	—
計	9,745,709	17,447,801	27,193,511	△215,836	26,977,675
セグメント利益	529,108	1,554,385	2,083,493	△687,233	1,396,260

(注) 1. セグメント利益の調整額△687,233千円には、セグメント間取引消去△215,000千円、全社費用△472,233千円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に当社とあかつき証券㈱との間での社債関連手数料の消去であり、全社費用は主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。